



賀正

昭和四十八年元旦



発行所
福井県大野郡
和泉村
下穴馬 ☎ 912-02
中竜 ☎ 912-03

(昭和47年12月1日現在)

村の人口

出生	1人
死亡	2人
転入	9人
転出	26人
総人口	2,330人
男女	1,212人
1,118人	
世帯数	647世帯

村の面積
332.60 km²

年頭のごあいさつ

和泉村長職務代理者

平野 勇



村民の皆様にご挨拶申し上げます。新年は、わが国にとって、歴史的に大きな意味をもつ日中国交回復が実現し、戦争のためにへだてられた友情が再びよみがえったことは、まことに喜ばしい限りであります。一方、わが和泉村におきましては、五十年来の夢として、村民挙げて渴望するところであった越美北線が完成し、去る十二月十五日に竣工祝賀の式典が盛大に行なわれました。まことに感慨無量の思いがいたします。また、鉄道開通と期を一にすべく、かねて工事を急いでおりました、村営スキー場も、管理塔及び第一リフトの完成によって昨年末オープンにこぎつけました。このことは観光立村を標榜する本村にとつて、冬季観光という新しい試みに一歩を印したことになり、今後における施設の充実、宣伝及び受入態勢の充実にも万全を期さなければならぬと思っております。昨年は、これらの特筆すべき事柄に加えて、朝日に教職員寮（児童生徒の寄宿舎併用）を建設し、大納小学校プールも完成いたしました。また、九頭竜万本桜の会の正式発足、総合グラウンドの建設及び前坂キャンプ場のオープンなど、未来を担う青少年健全育成の場や、湖辺を桜でかざる事業も除々にその緒についています。このほか、村の古い文化や遺跡などを発掘し、世に照会する作業も積極的に推し進め、縄文遺跡等六件を村文化財に指定すると共に、新しいものの発見にも努め、

林谷におけるミズバショウの群生は非常に新鮮な収穫であったと思えます。十一月には、かねて陳情を重ねてまいりました箱ヶ瀬地区の電話設置が実現し、同地域における今後の観光に一步前進を示したことは大変うれしいことであると思えます。

和泉村が新しい村造りの構想をもって立ち上りつつある中、まだあまり歳月を経れておりませんが、三本の柱を中心とした開発方式及びこれが助長推進の役割りを果たす交通、通信網の整備など両々相たずさえて、今日多少の成果を得たものと考えております。私は、将来における和泉村の発展的基盤は、確固たる産業開発を土台として、観光開発を推し進め、地域格差の是正と過疎に対処しなければならぬと考えております。

私共は、過去の累積の上に立って、更にそれを完成しなければならぬ多くの仕事を持っています。即ち、越美南北線の貫通及び国県道の改良促進、九頭竜湖駅の貨物駅併用等々、交通網関係でも数へあげればきりがありません。また、第二次林業構造改善事業や九頭竜スキー場は、継続第二年度を迎えますし、新たには、大納小学校の改築及び国民宿舎の建設も、実現可能な段階にきております。このようにして一九七三年もまた、国、県、国鉄等への要望を含む建設の年になりそうです。また一般行政的には、社会福祉の充実及び僻地教育、社会教育の強化並びにゴミ、し尿等の環境浄化問題などが中心として動くだろうと考えます。

一九七三年の展望に立って、過ぎし年をかえり見る時、私達はこの恵まれた大自然をより大切に、地下資源を掘り、山に木を植え、観光を興し、然して片時の感謝をも忘れてはならないと思えます。

今年もまた、皆様のご支援ご協力をこい願って止まない次第であります。

待 越美北線(勝原~九頭竜湖間) 開通 望 新らしい村づくりの夢のせて



記念すべき日12月15日

開通式盛大に終る

待望久しかった越美北線延長工事(勝原~九頭竜湖間)が、総額三三億円の巨費と七ヶ年の長い歳月をへて、一月中にしゅん工し、去る十二月十五日開通式が盛大に行なわれた。

この日は、記念すべき日にふさわしい晴天に恵まれ、国鉄総裁を始め、運輸大臣、福井県知事等約三百人の来賓と村民多数が集まり、この開通の喜びをわかちあった。

きれいな飾り付けをした祝賀列車が大衆の振る日の丸の小旗に迎へられ、九頭竜湖駅にすべり込んだ一瞬は、我々村民にとって生涯忘れることの出来ない一瞬であり、本村の新らしい村づくりに夢と希望を運ぶ歴史的な一ページの幕明けであった。

(写真:祝賀会の一コマ)

開票結果

選挙 候補者名	今回(47. 12)		前回(44. 12)		前々会(42. 1)	
	得票数	%	得票数	%	得票数	%
堂 森 芳 夫	113		177	13.19	258	14.97
坂 口 章	34					
坪 川 信 三	39		209	15.57	48	2.78
福 田 一	591		418	31.35	898	52.09
竹 内 啓	18					
植 木 庚子郎	70		196	14.61	52	3.02
たばた 政一郎	311					
しげの 誠 男	7					
藩 合 栄 一			26	1.94	40	2.32
斉 藤 敬 一			296	22.06	428	24.82
松 崎 芳 伸			15	1.12		
加 藤 幾			5	0.36		
計	1,183	100		100		100

へ開くたびに、めずらしければほととぎす、いつも初音の心地こそすれお正月のめずらしさは、まさにこの境地かと存じます。

さて、本村の実状を眺めますときにまず、昨年暮の汽車の開通であります。この汽車の開通こそ、私達の六十年来の悲願であり、私達に大いなる夢と

希望を与えてくれ、何物にも代えがたい喜びで最大のお歳暮でありお年玉でもありました。地域の発達は交通の便なくして向上しません。「雪さえなければ」「雪があるばかりに」と、雪にしいたげられた私達の村も、この汽車の開通を機に、「冬はスキー」と、「夏は釣に」とそして「紅葉の自然を」と、和泉ならではの観光立村に一躍前進したいものです。

さらにもう一押し村民挙げて運動を展開して、一日も早く越美南線と連絡させたものです。

森林の和泉、地下資源の和泉、そして観光の和泉として、本村の限りなき発展を祈念し年頭のご挨拶と致します



年頭のご挨拶
和泉村議会議長 吉川 基

衆議院議員総選挙終る

投票率 七八、四三%

第三十三回衆議院議員総選挙は、去る十二月十日執行されましたが、田中新内閣発足の信を国民に問うもので、日中国交正常化と日本列島改造論をスローガンにした自由民主党と、福祉国家優先を叫ぶ野党の対決となり、結果は社会党と共産党の延びとなり、選挙史上二度目の師走選挙で、今年の締め

投票状況

区 間 年次	当日の有権者数			投票者			棄権者			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
今 回	784	746	1,530	630	570	1,200	154	176	330	80.36	76.41	78.43
前 回 44年12月	801	793	1,594	696	657	1,353	105	136	241	86.89	82.85	84.88
前々回 42年1月	1,395	11,64	25,59	940	797	1,737	455	367	822	67.38	58.47	67.88

源泉還付の申告書は一月中

国税の証明混雑しないうちに

二月十六日から三月十五日までは、所得税の確定申告時期で税務署は大変混雑します。そこで次のことにご協力下さるようお願い致します。

一、源泉徴収された税金が納めすぎとなった方は、還付を受けるための確定申告書をなるべく一月中に提出してください。二月以後では、支払も遅くなります。

二、国税の納税証明は二月中旬までかのばせるものは、四月以後に請求して下さい。(大野税務署)

くくりとなりました。本村の開票結果は次表のとおりですが、投票率は福井県の六、二九劣を少々下廻るも七八、四三劣となり、前々回の六七、八八劣に比べて一〇、五五劣も上廻り、まずまずの成績でありました。

朝日中学校寄宿舎

和泉村朝日教職員住宅竣工なる

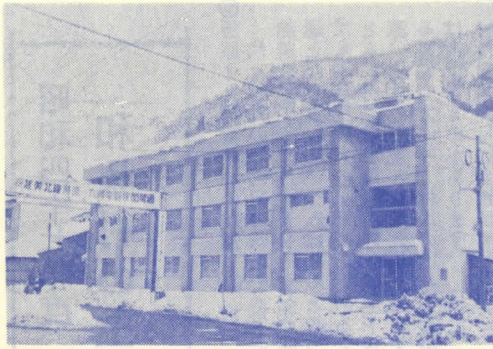
十二月十四日、竣工ま新しい寄宿舎に、児童生徒たちが入居しました。一階は寄宿舎、二・三階は朝日教職員住宅として使用されます。これで積雪を迎えても心配なく、デラックスな環境の中で楽しく、暖かく過ごせると大喜びです。

○寄宿舎

総工費 九五七九〇〇〇円
鉄筋 二二二平方メートル
収容人員 十八名
寝室 六室
倉庫・学習室・食堂
浴室付

○教職員住宅

総工費 二、四一九万二〇〇〇円



○施工者 横田建設

鉄筋 四七八平方メートル
収容人員 十八名
一般家族用 三戸
単身用 十一戸
食堂・浴室付

和泉村たすけあい

銀行だより

日頃いろいろな形で不幸な生活をしている方々を、みんなの善意で力づけていこうという趣旨で今年度の新規事業として七月一日から八月三十日の二ヶ月間にわたり村内住民を対象に袋募金を実施いたしましたところ多額のご寄附をいただきましたので、ここに感謝の意を以ってお礼申し上げます。

また使途につきましては高令病弱等で、特に必要と思われる老人宅で隣家の協力を必要とする独居老人用テレビ二台、貸傘として一般住民に利用していただくため善意傘二〇本及び傘立一立を購入いたしました。

使用場所は次のとおりです。
独居老人用テレビ
斉藤光二(下) 山 隣家 西 久雄宅
朝日つた(下大納) 隣家 横地市春宅
善意傘及び傘立
九頭竜湖駅舎に備えつけ 一〇本
(この傘は住民の皆さんにご利用していただく傘ですので使用後は必ず駅舎の傘立にお返し下さい)

家庭の目標

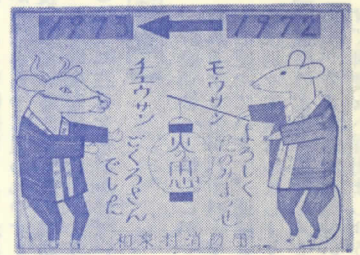
新しい年をむかえ
わが家の一年の計画をたてよう



明るい家庭

防火管理について

本年もまた、冬季火災シーズンとなりましたが、火災の原因のほとんどが「人の不注意」からといわれています。和泉村においては積雪地でもあるので



ひとたび火事になると、消火活動もスムーズにいかなくなるおそれが考えられます。

- ① 防火に対する責任体制ならびに管理警備の体制をととのえる。
- ② 日常の防火、特に危険物貯蔵等消防法諸規定の厳守等につき消防団等の指導をうけて下さい。
- ③ 防火用水や消火器具類を整備しておく、行届いた管理をする。
- ④ 電気設備および火気使用器具、設備類に対する防火管理の終点検を実施する。

No.58 **カマコ** 山みみのる

去年 越美北線勝原・九頭竜湖開通

今年 道路改良工事完成式

冬期でも安心して通水する 谷戸→滝間

年々 年々おもしろい

むつき(一月)

明けましておめでとうございます。昨年の暮には半世紀の宿願、越美北線勝原・九頭竜湖の開通で村民を喜びの渦中に引きこんだできごと、九頭竜スキー場のオープンで、角野の山々にリフトの音がこだまはじけたこと、また十月には村長選挙が行なわれ、選挙違反者の続出で、和泉村に大きな汚点を残し、村民に今後の大きな課題を投げかけたこと、いずれのできごとともまだ、まぶたに強く焼きつけられておりますが、汽車の和泉村への乗り入れ、九頭竜スキー場の開発と、未来に躍動する足掛りを作り新しい年を迎へました。

さて一月のことを和名で睦月(むつき)といいます。年の始めの月として一家はもちろん、隣り近所の人、ひいては日本中の人たちが、お互いにむつみ合うことができますようにと、願いをこめて、この呼び名が生まれたものでしょうか。お正月をおめでたく、たのしく過ごすためには、家族ぐるみ気持ちを合わせていかなければなりません。ひところ「世代の断絶」ということが盛んに使われました。親と子の先生と学生の考え方の違いが、対話を話し合いだけでは埋めきれないみぞのこことを言い表わしたことのようです。お正月の過ごし方ですが、元日は、まず、祝いのおとそを飲み、多少テレながらも新年のあいさつをしてから、おぞう煮やおせち料理を一緒にいただくといったコースですが、この習慣は全国共通のようです。こういって百パーセント共感できる親子の生活の場があるのに、どうしてささいなことでも断絶が起こるのでしょうか。こころは「断絶」を断ちきる共同体意識の回復を目標にしたいものです。

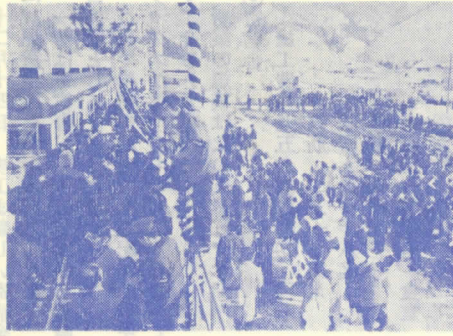
昭和四十七年度 和泉村の主なできごと

◎勝原九頭竜湖間の開通

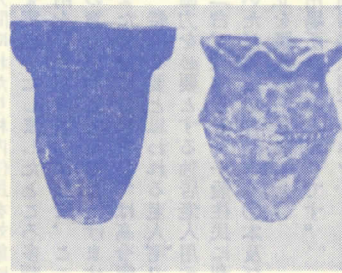
代々村民の半世紀の悲願であった越美北線が十二月十五日めでたく開通となりました。これはなんとと言っても本年度最大の出来ごとであるとともに将来、和泉村が観光、地下資源、山林の和泉として大きく飛躍する原動力であり、村民の寄せる期待は大なるものがあります。

◎村長選挙、村議会議員補欠選挙

投票率九五、五一%が示すとおり村民最大の感心事として十月二十二



日選挙が行なわれました。しかし、その後、十数名の選挙違反者が出たことは、今後、大いに反省しなければならぬと思います。
◎交通事故死亡ゼロ達成三百六十五日
記念パレード実施



◎縄文遺跡などを村文化財に指定

昨年八月三十一日より本年八月三十日までの三百六十五日間、和泉村管内で死亡ゼロが達成し、九月三日村内各種団体などから自動車十数台をつらねてパレードが行なわれた。
◎教育委員会は、去る七月十四日委員会を開催し、鐘乳洞白馬洞を始め角野前坂及び小谷堂の縄文遺跡、又民族資料として、小谷堂の縄文遺跡から出土した「縄文深鉢一号」「同二号」及び角野前坂遺跡から出土した「縄文時代の小児かめ棺」の六件を村文化財に指定した。

◎ミズパシヨウの群落を発見

下半原・林谷の奥で水源地に近い標高一、二〇〇米の谷あい「ミズパシヨウ」の群生(約百株)を本年七月発見した。

◎朝日小、大納小両校にプールが完成
下山小、朝日中に続いて、両校に立派なプールが七月完成した。

◎高志社会福祉大会が開催

第十六回高志社会福祉大会が七月二十六日朝日中学校において、高志管内五ヶ町村から約三百人が集まって開催された。

◎九頭竜万本桜の会が発足

財団法人「九頭竜万本さくら会」の第一回植樹式が、四月三十日九頭竜ダム湖畔の万本さくら会館建設予定地で行なわれた。

◎前坂キャンプ場オープン

若者の健全育成の場として昨年頃から一部の若者によって利用されていたが、本年は、福井県指定の和泉村営キャンプ場として、七月二十二日オープンした。

◎九頭竜スキー場オープン

昨年から建設が急がれていた九頭竜スキー場は、この程第一リフトが完成しオープンされた。今冬から鉄



道が開通したこともあり、県内外から多数のスキーヤーが訪れるものと大きな期待が寄せられている。

普通飲食業

環境衛生同業組合

和泉支部結成

村を訪れる観光客はスキー場の開発と共に増加しておりますが、この方々に清潔で気持ちよい環境だったと喜んで頂ける村にしたいのは村民全部の気持ちであります。

特に飲食関係では食中毒などの汚名を残さないよう県の指導を受け万全を期したいと存じます。
又、業者間の意志疎通、環境衛生金融公庫からの融資に対する推せん母体となるなど利用範囲は広く、かねてより要望があり、検討していたもので、今度福井県普通飲食業環境衛生同業組合の和泉支部として発足することになり、事務所を商工会に置き、組合員三十二名にて創立結成役員に次の方が選出されました。

今後この種の事業を営まれる方は加入の上利用されるよう希望します。

支部長 梅 坪 国 雄
副支部長 井 南 政 夫

郵便局だより

あなたの郵便貯金

通帳は安全ですか

毎年、年末年始にかけて貯金通帳などが盗まれ、知らぬまに払いもどされる事件が多数発生することが予想されます。昭和四十六年度において全国で発生したこの事件は、二千四十六件で被害総額二億円にも達しています。郵便貯金は全国どこでも郵便局でも預け入れ、あるいは払いもどしが出来ることから、かえって狙われやすく、事件を捜査している北陸郵政監警局では、せっかく貯金を盗られないようにと、次のように注意を呼びかけています。

【注意】

- 一、貯金通帳と、はんこが一緒に盗られるケースが八十パーセントにものぼっています。通帳と、はんこは別々に保管しましょう。
- 二、通帳の記号、番号をメモしておいて、盗まられたと気付いたら、すぐ郵便局へ届出しましょう。

三、犯人は友人や親族など親しい間柄の者が五〇パーセントを占めています。住まいの戸締りとともに心の備えも大切です。

人のうごき

【出生】

上大納 車田龍一 二郎 長男

【死亡】

上大納 井上スワ 六七才
上大納 松田ナハ 七七才



あとがき

皆さん明けましておめでとうございませう。広報「いずみ」編集委員一同謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
昨年中は広報「いずみ」に対し何分とご支援ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。
新年を迎え編集委員一同、更にその使命の重大さを自覚して、皆様方が茶の間で村の動きを把握して頂けるよう、なお一層の努力を続けたいと思っております。何卒、昨年に倍しご愛読とご協力を賜わりますよう、お願い申し上げます。